

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【公開番号】特開2016-26748(P2016-26748A)

【公開日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-011

【出願番号】特願2015-210053(P2015-210053)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月23日(2016.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技者が操作可能な操作手段と、
前記操作手段が操作されたことに基づいて、前記有利状態に制御される可能性を予告する操作予告演出を実行可能な操作予告演出実行手段と、
前記操作予告演出が実行されることを事前に報知する操作予告報知演出を実行可能な操作予告報知演出実行手段と、を備え、
前記操作予告報知演出の実行態様に応じて、前記操作予告演出として前記有利状態に制御される期待度の高い演出態様の前記操作予告演出が実行されるか否かが異なる
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

特許文献 1 に記載された遊技機では、遊技の興趣を十分に高めることができなかった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技者が操作可能な操作手段と、
前記操作手段が操作されたことに基づいて、前記有利状態に制御される可能性を予告する操作予告演出を実行可能な操作予告演出実行手段と、
前記操作予告演出が実行されることを事前に報知する操作予告報知演出を実行可能な操

作予告報知演出実行手段と、を備え、

前記操作予告報知演出の実行態様に応じて、前記操作予告演出として前記有利状態に制御される期待度の高い演出態様の前記操作予告演出が実行されるか否かが異なる。

第 1 開始条件の成立に基づいて可変表示を開始して表示結果を導出表示する第 1 可変表示手段（例えば第 1 特別図柄表示装置 4 A）、または第 2 開始条件の成立に基づいて可変表示を開始して表示結果を導出表示する第 2 可変表示手段（例えば第 2 特別図柄表示装置 4 B）に特定表示結果（例えば大当り図柄となる確定特別図柄など）が導出表示されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えば主基板 1 1、CPU 1 0 3 など）と、前記遊技制御手段からの情報に基づいて前記第 1 可変表示手段および前記第 2 可変表示手段における可変表示に対応した演出を実行する演出装置を制御する演出制御手段（例えば演出制御基板 1 2、演出制御用 CPU 1 2 0 など）と、を備え、前記遊技制御手段は、前記第 1 開始条件が成立していない可変表示の保留記憶情報を記憶する第 1 保留記憶手段（例えば第 1 特図保留記憶部 1 5 1 A）と、前記第 2 開始条件が成立していない可変表示の保留記憶情報を記憶する第 2 保留記憶手段（例えば第 2 特図保留記憶部 1 5 1 B など）と、前記第 1 開始条件または前記第 2 開始条件が成立したときに、前記第 1 保留記憶手段または前記第 2 保留記憶手段から読み出した保留記憶情報に基づいて、可変表示を所定の状態とするか否かを決定する決定手段（例えばステップ S 2 4 0 の処理を実行する CPU 1 0 3 など）と、前記決定手段による決定前に、前記第 1 保留記憶手段または前記第 2 保留記憶手段に記憶される保留記憶情報を用いて、可変表示が前記所定の状態となるか否かを判定する決定前判定手段（例えばステップ S 2 1 2 の入賞時乱数値判定処理を実行する CPU 1 0 3 など）と、前記第 1 保留記憶手段または前記第 2 保留記憶手段が記憶する保留記憶情報が増加したときに保留通知情報と、前記決定前判定手段の判定結果を示す判定結果情報と、を送信する情報送信手段（例えばステップ S 2 1 3、S 4 1 3 の処理を実行する CPU 1 0 3 など）と、を含み、前記演出制御手段は、前記判定結果情報に基づいて、可変表示が前記所定の状態となる可能性を予告する予告演出を実行する予告演出実行手段（例えばステップ S 7 1 0 の処理に基づきステップ S 7 1 4、S 7 1 5 の処理を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など）と、前記判定結果情報を正常に受信した場合であっても、少なくとも前記保留通知情報を取りこぼしたことを含む前記保留通知情報を正常に受信することができなかった場合に、前記予告演出の実行を制限する予告演出制限手段（例えばステップ S 7 0 7 にて No と判定された場合にステップ S 7 3 3 の処理を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など）と、少なくとも前記第 1 保留記憶手段または前記第 2 保留記憶手段のいずれかに記憶されている前記保留記憶情報の各々に対応した保留特定情報を表示する保留表示手段（例えば画像表示装置 5 における始動入賞記憶表示エリア 5 H など）と、を含み、前記予告演出実行手段は、前記判定結果情報に基づいて、当該判定の対象となった前記保留記憶情報に対応する前記保留特定情報の表示態様を特定態様に変化させる前記予告演出を実行可能であるとともに、複数の前記保留特定情報が表示されているときに、複数の前記保留特定情報を前記特定態様に変化させる前記予告演出を実行可能である（例えばステップ S 7 1 0 の処理において、先読み予告演出実行中にさらに先読み予告演出を実行することを決定可能である）ようにしてもよい。